

令和元年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立久喜工業高等学校)

目指す学校像	自分創りを目指し、望む進路実現を図り、真の感動を味わえる”こころ・技・からだ”が育つ学校 ①④の創りの”こころ”と”技”を身につけた人づくりを目指す。 ②知・徳・体のバランスのとれた人づくりを目指す。ー
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 個に応じた学力と技術力の向上を推進する。 授業態度の確立を図る。授業内容の充実を図る。資格取得等を奨励する。 基本的生活習慣の確立と向上を推進する。 欠席、遅刻、早退の減少を図る。服装、頭髪指導の徹底を図る。挨拶と正しい言葉遣いの励行を図る。 個々の生徒に応じた進路指導を充実する。 生徒の職業観や勤労観を育成するとともに、進路希望に応じたきめ細やかな指導を行う。 地域の信頼と期待に応える開かれた学校づくりを推進する。 中学生やその保護者に積極的な情報提供を行う。小学校との交流及び地域の行事等への参加。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価					年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>・授業に真剣に取り組む姿勢が不足し、欠点を持つ生徒が多い。解る授業を心がけ、生徒の学習意欲を高め真剣に授業に参加することができる環境を作ることが課題である。</p> <p>・全校で資格取得に取り組む姿勢にやや欠けている。体制を作る。昨年度以上に資格取得表彰者数の増加を目指す。また、資格取得状況を把握し、次の資格取得を目指しやすくなるシステムの改善と整備に取り組む。</p>	<p>授業改善・学力向上</p> <p>①生徒の個性を生かす授業展開を実践する。補習体制の充実を目指した方法を立案。</p> <p>②資格取得の意欲喚起と同時に、学校全体で資格取得に取り組む体制を確立する。(資格取得に対する目標を持たせる)</p>	<p>○基礎学力向上のための取り組みに加え、放課後の補習や自主学習のために実習室の有効利用を検討し実践する。生徒が自ら学習に取り組む意欲を喚起し、自ら学習できる環境を整える。また、生徒が職員に相談しやすい環境について検討する。</p> <p>○各学期ごとに、生徒に資格取得状況を把握できるような資料を作り、生徒が新たな資格取得に向けて意欲的に取り組むようにする。保護者にも情報が伝わるような取り組みを立案実施する。</p>	<p>○生徒の個性に合った学力向上のための取り組みを実践し、1年間でどのくらい成長することができたかを学びの基礎診断テスト等のデータから調べて、大きな伸びを示す生徒が10%以上になることを目標にする。 欠点数や成績不振者数を前年度より、更に5%減少させる。</p> <p>○職員や保護者が資格取得状況を把握できるシステムを構築し、活用する機会を検討する。個の生徒に応じた情報発信ができるようにする。高校生専門資格等取得表彰者数を昨年度より更に5%以上増加させる。</p>			
2	<p>・近年、遅刻数の減少を目標に各学年と連携を図り、継続した指導を行ってきた。昨年度の遅刻総数は1468回であり、一昨年度比15%減少した。今年度も引き続き指導を徹底し、遅刻数の減少に取り組むことが必要である。遅刻カードについては、今年度も継続して実施する。</p> <p>・退学および進路変更をする生徒は、1年生が占める割合が多い。そのため、入学直後より学年団を中心に学校全体で共通理解のもと、教職員全員できめ細かい指導を実施する必要がある。</p>	<p>生徒指導</p> <p>①基本的生活習慣確立のための遅刻指導・挨拶指導を重点的に継続する。</p> <p>②進路変更、退学者を出さない、問題行動を起こさせない指導を充実させる。</p>	<p>○遅刻指導を年間10週以上実施する。(遅刻カードの活用)</p> <p>○挨拶指導、登下校指導、巡回指導を年間10週以上実施する。</p> <p>○自転車の交通安全教室(乗り方指導・自転車点検)を実施する。</p> <p>○身だしなみ指導を年間5回以上実施する。</p> <p>○生徒対象のいじめアンケートを実施する。</p> <p>○生徒対象のいじめ・SNS講習会を実施する。</p> <p>○教職員対象の研修会(特別支援・発達障害に関する研修)を実施する。</p>	<p>○2年続けて減少している遅刻数の現状を、維持。</p> <p>○挨拶できる生徒、身だしなみが整っている生徒が増加。</p> <p>○自転車をはじめとする交通事故が減少。</p> <p>○生徒アンケートで「久喜工高は遅刻防止指導に、計画的に取り組んでいる」と回答した生徒が90%以上。</p> <p>○進路変更、退学者数が前年度比5%以上減少。</p> <p>○問題行動(指導件数)が前年度比5%以上減少。</p> <p>○生徒アンケートで「久喜工高は服装・頭髪などにきちんと指導を行っている」と回答した生徒が90%以上。</p> <p>○教職員対象の研修会の内容が充実し、必要な知識・求められる資質が向上。</p>			
3	<p>・進路未定者を出さない為に様々な指導を継続して行っている。その結果、8年連続就職率・進学率100%を達成している。しかし、進路意識の希薄に起因した、就職や進学共に内定に時間のかかる生徒も一部出てきている。そのため、入学当初からの学年と協力的な計画的な進路指導を行うことが課題である。</p>	<p>進路指導</p> <p>①就職率・進学率100%を実現する。</p> <p>②4年連続で就職試験1回目の合格率率を80%以上を継続させる。</p>	<p>○企業との情報交換会へ積極的に参加して情報収集を推進する。</p> <p>○進路指導部内での情報共有を強化する。</p> <p>○進路指導部と3学年との連携を密にする。</p> <p>○インターンシップ受け入れ企業数を増やす。</p> <p>○求人企業との面談の質を高めて生徒へ適切な情報提供を行う。</p> <p>○効果的なタイミングで面接指導を実施する。</p>	<p>○就職率・進学率100%を早期に実現。</p> <p>○生徒アンケートで「進路決定にむけて、生徒の希望や保護者の期待に応えている」と回答した生徒を80%以上を達成</p> <p>○求人件数を維持して生徒の選択肢を確保。</p> <p>○来校求人数を5%増やし、生徒に適切に情報の提供。</p> <p>○生徒個々に5回以上の面接練習を実施。</p>			
4	<p>新設された広報部が生徒募集行事である学校説明会や体験入学等を企画、運営を行っている。平成30年度入試倍率も定員を満たすことができたが、先行きは不透明である。本校の日頃の教育活動の特色である実習を中心としたカリキュラムや進路指導などの結果を中学生、保護者、及びに地域住民に対して、いろいろな手段により、継続的に幅広く発信していく必要がある。また、地域の各種イベント・行事等に積極的に参加し、情報発信すると共に、地域に根ざした高校として貢献していく必要がある。</p>	<p>開かれた工業高校</p> <p>①情報発信を積極的に、本校への理解を深めていただくと共に、入学志願者を確保する。</p> <p>②様々なイベント・行事に積極的に参加し、地域に根ざした高校として貢献していく。</p>	<p>○学校のHPや学校案内、チラシを活用し、日頃の教育活動の情報を発信する。</p> <p>○学校PR資料「久喜工高だより」を各学期ごとに作成し、中学生に向けて配布する。</p> <p>○中学校への出前授業を積極的に実施する。</p> <p>○学校説明会を各回ごとにテーマを決めて計画的に実施する。</p> <p>○地域のイベント・行事および、小中学校や児童センターとの交流事業を継続して実施し、年間15回以上の対外的な活動を実施する。</p>	<p>○学校のHPを頻繁に更新し、HPへのアクセス回数が昨年度より増加。</p> <p>○学校PR資料「久喜工高だより」を各学期ごとに作成し、中学生に向けて配布。</p> <p>○中学校への出前授業を全学科参加により、積極的に実施。</p> <p>○学校説明会を各回ごとにテーマを決めて計画的に実施。</p> <p>○地域のイベント・行事および、小中学校や児童センターとの交流事業を継続して実施し、年間15回以上の活動を実施。</p> <p>○生徒アンケートで「久喜工高は、地域から良い学校だと評価されている」と回答した生徒が70%以上。</p>			

学 校 関 係 者 評 価		
実施日	平成	年月日
学校関係者からの意見・要望・評価等		